

SNS型投資詐欺被害の発生！

実際の手口例

犯人は、フェイスブックに有名実業家が写った投資の広告を投稿し、被害者をグループLINEに誘い、先生役によるウソのアドバイスなどで信用させました。

その後、「イトウジュン」と名乗った犯人が、被害者に架空の証券会社を紹介、投資アプリに二セの仮想通貨やFXの取引口座を開設させ、

23回にわたり、合計8,890万円をだまし取りました。

【被害防止のポイント】

- ◆ SNSやLINEで勧誘される副業や投資の広告には注意しましょう。
- ◆ 有名人の写真、「必ずもうかる」という広告、「とにかく簡単に稼げる！」とうたった広告（SNSの投稿に「いいね」するだけ、投資サイトに送金するだけ）は詐欺の可能性がります。
- ◆ 投資会社や副業会社に送金する口座が個人名義（外国人名義）の場合も詐欺の可能性がります。

